

令和 8 年 度 静 岡 県

ク リ ー ニ ン グ 師 試 験 問 題

(指示があるまで開いてはいけません。)

解 答 上 の 注 意

- 1 試験問題の数は30問で、解答時間は80分です。
- 2 解答は、「解答用紙」に記入してください。
- 3 それぞれの問題には、3つの答えが書いてあるので、その中から適切なものを1つ選び、該当する□の中に○印を記入してください。

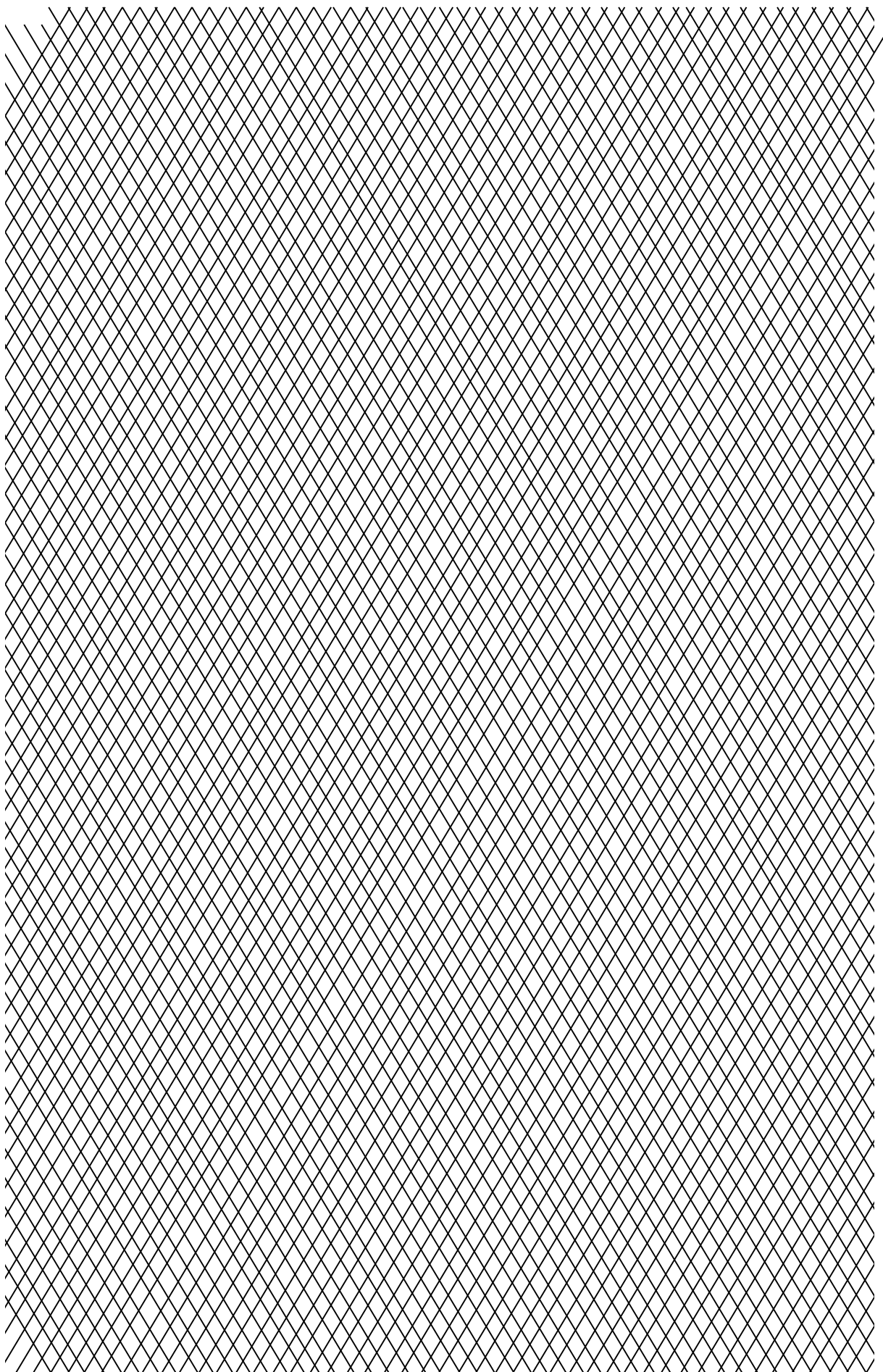
(例) 問題 ○ 静岡県の県庁所在地として、正しいものはどれか。

- 1 沼津市
- 2 静岡市
- 3 浜松市

正解は静岡市なので、解答用紙には次のように記入してください。

1	2	3
☐	☒	☐

- 4 1つの問題に対して2つ以上解答した場合は、不正解です。誤って記入した場合は、消しゴムで完全に消してから記入してください。
- 5 問題は持ち帰って構いません。
- 6 その他試験については、試験係員の指示に従ってください。



衛生法規に関する知識

問題 1 次のクリーニング業法の目的についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① クリーニング業法は、クリーニング業に対して、環境衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行うことを目的とする。
- 2 クリーニング業法は、クリーニング業に対して、その経営を公共の福祉に適合させることを目的とする。
- 3 クリーニング業法は、クリーニング業に対して、利用者の利益の擁護を図ることを目的とする。

問題 2 次のクリーニング業法の定義についての記述のうち、正しいものはどれか。

この法律で「クリーニング業」とは、（ ア ）を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を（ イ ）洗たくすること（繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行なうことを（ ウ ）。）を営業とすることをいう。

- | | （ ア ） | | （ イ ） | | （ ウ ） |
|---|--------|----|-------|----|-------|
| 1 | 溶剤又は洗剤 | —— | 解体して | —— | 除く |
| ② | 溶剤又は洗剤 | —— | 原型のまま | —— | 含む |
| 3 | 水 | —— | 原型のまま | —— | 除く |

問題 3 次のクリーニング業法施行規則の営業者の届出についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① クリーニング師以外の従事者の氏名を届け出なければならない。
- 2 クリーニング師の氏名を届け出なければならない。
- 3 管理人を置いたときは、管理人の氏名を届け出なければならない。

問題 4 次のクリーニング業法施行規則の苦情申出先の明示方法についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 クリーニング所においては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称のほか、所在地又は電話番号を店頭に掲示する。
- ② クリーニング所においては、苦情の申出先を店頭に掲示するとともに、当該掲示事項を記載した書面を配布する。
- 3 無店舗取次店においては、苦情の申出先として、必ず車両の保管場所を記載する。

問題 5 次のクリーニング業法の営業者の衛生措置等についての記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 洗たく物を洗たく又は仕上げを終わったものと終わらないものに区分しておく。
- 2 クリーニング所以外において、クリーニング師に営業として洗たく物の処理を行わせることができる。
- 3 消毒の効果を有する洗たく方法であっても、伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのある洗たく物を洗たくするときは、必ずその前に消毒する。

問題 6 次のクリーニング業法のクリーニング師についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 クリーニング師の設置が必要なクリーニング所において、営業者が同じであっても、クリーニング所ごとにクリーニング師を設置する必要がある。
- 2 洗たく物の受取及び引渡しのみを行うクリーニング所では、クリーニング師を置かなくてもよい。
- ③ 洗たくを行うクリーニング所を開設する営業者は、クリーニング師でなければならない。

問題 7 次のクリーニング業法施行規則のクリーニング師の免許についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① クリーニング師免許証の再発行をする者は、従事しているクリーニング所を管轄する都道府県知事に申請しなければならない。
- 2 クリーニング師の免許を受けようとする者は、試験に合格した都道府県知事に申請しなければならない。
- 3 クリーニング師は、氏名を変更したときは、10日以内に、免許を与えた都道府県知事に申請しなければならない。

問題 8 次のクリーニング業法施行規則のクリーニング師の研修についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 クリーニング師は、一度も業務に従事していない場合であっても、研修を受講しなければならない。
- 2 同じクリーニング所に従事するクリーニング師のうち、1人が研修を受講すれば良い。
- ③ クリーニング師は、研修を受けた後は、3年を超えない期間ごとに研修を受講しなければならない。

問題 9 次のクリーニング業法施行規則の業務従事者に対する講習についての記述のうち、誤っているものどれか。

- ① 営業者は、営業開始の日から1年以内に、従事者のうち10%の従事者に講習を受講させなければならない。
- 2 営業者は、洗たく物の受取及び引渡しのみを行うクリーニング所の従事者に対しても、講習を受講させなければならない。
- 3 クリーニング師の研修を受けたクリーニング師は、講習を受講した者とみなす。

問題 10 次のクリーニング業法の都道府県知事が業務停止をすることができる場合についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 洗たく物の受取及び引渡しの業務に従事する者が利用者に対し、洗たく物の処理方法についての説明を怠ったとき。
- 2 営業者が、営業するクリーニング所の業務に従事するクリーニング師に対し、研修を受ける機会を与えなかったとき。
- ③ 洗たく物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不適當と認めるとき。

公衆衛生に関する知識

問題 11 次のWHO憲章についての記述のうち、()にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

健康とは、肉体的、精神的及び(ア)に完全によい状態にあることであり、単に疾病又は虚弱でないということではない。及ぶ限り最高の(イ)を享受することは、人種、宗教、政治的信条、経済状態のいかんを問わず、すべての人間の基本的権利である。

- | | (ア) | | (イ) |
|---|-----|----|------|
| 1 | 経済的 | —— | 人権水準 |
| ② | 社会的 | —— | 健康水準 |
| 3 | 生活的 | —— | 経済水準 |

問題 12 次のクリーニング業における公衆衛生についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 営業者は、従事者の健康状態には常に気を付けるとともに、感染症の疑いのある場合は、従事者自ら健康状態を申告させることを徹底する必要がある。
- 2 利用者は、感染症に罹患した従業者との接触により、感染症に罹患するリスクがある。
- ③ クリーニング業は、特定多数の者が利用する業態であるため、公衆衛生を意識する必要はない。

問題 13 次の手洗い、手指消毒についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 手に汚れが付着しても、擦式アルコール性消毒薬の使用だけで手指の清潔を保持できる。
- 2 事業所内には、手洗い設備を整備し、従業者に対して手洗いの徹底を図ることが重要である。
- 3 洗たく処理場での仕分け（分別）作業の後には、手洗いを実施する。

問題 14 次のノロウイルスを疑う吐しゃ物やふん便が付着しているリネン類の処理についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 リネン等に付着した汚物はウイルスが含まれているため、下洗いは、水はね等を気にせずしっかり洗うことが重要である。
- ② 下洗いしたリネン類の消毒は85℃・1分間以上又は80℃・10分間以上の熱水洗たくが適している。
- 3 下洗いの際は、次亜塩素酸ナトリウム200ppmで消毒する。

問題 15 次の標準営業約款制度（Sマーク制度）についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 Sマーク制度は、事業者保護のための制度である。
- 2 Sマークは、都道府県知事が認可した標準営業約款登録店のマークである。
- ③ Sマークは、技術水準や事故の場合の補償制度などを完備した旨の登録を行った店舗のみ、掲示することができる。

問題 16 次のクリーニング所の施設の立地、構造や設備についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場は、住居系・商業系用途地域では小規模であれば立地（建築）できる。
- ② ドライクリーニングを営む工場は、工業系用途地域において立地（建築）できる。
- 3 クリーニング所の洗たく業の用に供する洗浄施設は、水質汚濁防止法の特定施設には該当しない。

問題 17 次の廃棄物についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 VOC（揮発性有機化合物）は、微少粒子物質（PM_{2.5}）の原因物質であり、ドライクリーニングに使用する石油系溶剤やテトラクロロエチレンが該当する。
- ② 廃棄物の処理を処分業者に委託するときは、廃棄物の種類・量にかかわらず、電子 manifests の交付が義務付けられている。
- 3 クリーニング業において排出される特定フロンにはHCF₃がある。

問題 18 次のPRTTR制度についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 PRTTR制度とは、化学物質排出移動量届出制度のことである。
- 2 PRTTR制度により、営業者による化学物質の自主的な管理の改善促進により、環境上の支障の未然防止が期待される。
- ③ 対象となる営業者は、年2回、様式に従い厚生労働大臣に届け出る。

問題 19 次の労働安全衛生規則についての記述のうち、()にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

2025年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行され、熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、熱中症の重篤化を防止するため、「(ア)」、「手順作成」、「(イ)」が事業者には義務付けられた。

(ア)		(イ)	
1	健康診断	——	労働時間の制限
②	体制整備	——	関係者への周知
3	作業計画	——	作業環境の監視

問題 20 次のクリーニング業のSDGs目標事例についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 衣料用ハンガーは、衛生的理由から回収・再利用はしない。
- 2 衣料用ハンガーの原料には、再生プラスチックを使用する。
- 3 集配ルートを最適化する。

洗たく物の処理に関する知識

問題 21 次の日本産業規格（JIS L 0001：2024）「繊維製品の取扱いに関する表示記号」についての記述のうち、誤っているものはどれか。

（ア） （イ） （ウ）



- 1 （ア）は、アイロン仕上げ処理の方法を表示する記号で、底面温度160℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができることを意味する。
- ② （イ）は、漂白処理の方法を表示する記号で、塩素系漂白剤による漂白処理が可能であるが、酸素系漂白剤による漂白処理は禁止であることを意味する。
- 3 （ウ）は、ドライクリーニング処理の方法を表示する記号で、石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンでのドライクリーニングによる通常の処理ができることを意味する。

問題 22 次のしみの見分け方についての記述のうち、（ ）にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

（ア）のしみは、一般に生地が透けて見え、手ざわりが柔らかく、しみの周囲の輪郭は、はっきりしていないものが多い。

（イ）のしみは、霧吹きで霧をかけると、生地よりもしみの方が水分を早く吸収し、しみの周囲の輪郭は、比較的是っきりしているものが多い。（ウ）のしみは、ルーペなどで拡大すると粒子状に見える。

（ア） （イ） （ウ）

- | | | | | | |
|---|-----|----|-----|----|-----|
| 1 | 不溶性 | —— | 油性 | —— | 水溶性 |
| 2 | 水溶性 | —— | 不溶性 | —— | 油性 |
| ③ | 油性 | —— | 水溶性 | —— | 不溶性 |

問題 23 次のドライ溶剤の浄化に関する注意事項についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ワッシャー中の汚れた溶剤は、ポンプでフィルターへ送られ、繰り返し循環されるとき、主として水溶性の汚れが除去される。
- 2 汚れたドライ溶剤は、加熱して蒸発させ、そのガスを冷却液化して再生する。
- 3 溶剤の清浄度を保つための溶剤管理は、ドライクリーニングの品質を維持する上で重要な技術の一つである。

問題 24 次の洗剤の働きについての記述のうち、() にあてはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

洗剤には、界面張力を低下させる働きや、浸透、(ア)、湿潤する働き、油を水の中に、あるいは水を有機溶剤の中に微粒子状に分散し、(イ)、または可溶化する働きや、固形粒子を水あるいは油の中に均一安定に分散する(ウ)する働きがある。洗浄作用は、石けんや洗剤の浸透・(ア)・膨潤・(イ)・(ウ)等の諸性能が統合されたものである。

- | | (ア) | | (イ) | | (ウ) |
|---|-------|----|-------|----|-------|
| ① | 吸着 | —— | 乳化 | —— | 懸濁 |
| 2 | 乳化 | —— | 懸濁 | —— | 吸着 |
| 3 | 懸濁 | —— | 吸着 | —— | 乳化 |

問題 25 次のテトラクロロエチレンの安全管理についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 1年以内ごとに1回、作業環境測定士による作業環境測定を行い、測定の記録とその評価の記録を3年間保存する。
- 2 ドライクリーニング機を取り扱う従業者に対し、6か月以内ごとに1回、特別な項目についての健康診断を行い、その結果の記録を3年間保存する。
- ③ 1年に1回、機械の自主検査を実施し、記録を3年間保存する。

問題 26 次の絹についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 絹は、わが国に産する植物繊維として古代から最も身近な繊維である。
- ② 「生糸」は、三角断面の2本の「フィブロイン」と、それを取り囲むニカワ質の「セリシン」で構成されている。
- ③ 絹は、発色が鮮やかで、しなやかさと吸湿性に優れた繊維の中の最高級品である。

問題 27 次の合成繊維についての記述のうち、() にあてはまる語句として、正しいものはどれか。

() は、アクリルニトリル（アクリロニトリル）成分が重量比の35～85%で塩化ビニルと結合している合成繊維。カーテン、カーペット、人工毛皮などに用いられる。欠点としては、熱、蒸気に極端に弱く、また、アセトンやジメチルホルムアミドなどのしみ抜き溶剤に溶けやすい。

- 1 アクリル
- ② モダクリル
- 3 ビニリデン

問題 28 次の繊維素材の収縮要因についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 緩和収縮は、布地が生産される過程で受けた歪みが、水分を吸収したとき、あるいは洗たくやスチーム処理、熱処理等により緩和されて、元の安定した寸法に戻ることににより発生する。
- 2 フェルト化による収縮は、毛繊維特有の現象で、毛繊維の表面にあるスケールと呼ばれるウロコが水分を吸収し、開いた状態になり、繊維同士が絡み合うことで発生する。
- ③ 膨潤緻密化収縮は、綿、レーヨンなどに特徴的な収縮挙動で、水分を吸った繊維が膨潤し、直径が増大することにより発生するもので、乾燥すると元に戻る。

問題 29 次のニット（編物）についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 ニットは、織物と異なり、縦又は横のいずれか1方向の1本の糸による横方向もしくは縦方向に連続した編目で作られる。
- ② 糸の方向により、緯編（よこあみ）と経編（たてあみ）に大別され、平編みは経編（たてあみ）のひとつである。
- 3 ニットの密度はゲージで表され、一般には、1インチ間に植えられた編針の本数で示され、数字が大きい方が編目が密となる。

問題 30 次のラメ糸（スリット糸）についての記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 ラメ糸（スリット糸）は、ポリエステルやナイロンのベースフィルムにアルミニウムや銀等の金属を圧着した糸である。
- 2 ワンプライとツープライの2種類があり、ワンプライの方が水分や外気の影響を受けにくい。
- ③ アルミ等金属が使用されていることから、白物のウール製品と接触させないように注意する。

